

事業番号

2022 - 文科 - 21 - 0356 - 04

令和4年度セグメントシート (日本スポーツ振興センター)

セグメント名	国際競技力向上事業			担当部局庁	スポーツ庁	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長 西川 由香	
会計区分	一般会計						
セグメント単位の考え方	財務諸表のとおり						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 独立行政法人日本スポーツ振興センター法第15条			関係する計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) 「持続可能な国際競技力向上プラン」(令和3年12月27日スポーツ庁策定)		
主要政策・施策	ODA			主要経費	文教及び科学振興		
事業目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日文科科学省策定)に掲げる目標の一つである「我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収める。」ことを実現するため、我が国の国際競技力向上に資する、スポーツ科学・医学・情報の研究及び支援、高品質なトレーニング環境の提供、並びに戦略的な強化に関する取組への支援を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. JISSで行われる先端的な研究のもと、NTCの充実した最新施設、器具・機材を活用し、各分野の研究者、医師等の専門家集団が連携しあって国際競技力向上のための支援を行う。 ・我が国のトップアスリートの競技力を評価・診断して、競技力の向上に役立つデータやアドバイスを提供するスポーツ医・科学支援事業 ・国際競技力向上のために有用となる方策を生み出すための研究を行うスポーツ医・科学研究事業 ・トップアスリートのスポーツ外傷・障害及び疾病に対する診療、アスレティックリハビリテーション、心理カウンセリング、栄養相談を実施するスポーツ診療事業 2. 東京2020大会等において活躍が期待される次世代アスリートの発掘・育成などの戦略的な強化に関する取組への支援を行う。 ・スポーツ医・科学、情報を活用した集中的な育成・強化や将来性豊かなタレントを効果的に発掘・育成するための強固で持続可能なシステム開発 ・競技力強化を支える人材育成やHPSCの機能を地域へ展開するためのネットワーク構築 ・NFが策定する強化戦略プランの実効化支援						
実施方法	交付						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	経常収益	予算額: 運営費交付金	4,894	4,915	5,170	3,892	
		執行額					
		運営費交付金	3,992	4,352	5,465		
		補助金等	-	-	-		
		その他	4,133	2,737	5,700		
	計	8,125	7,089	11,165			
	運営費交付金収益の割合	49.1%	61.4%	48.9%			
	運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準		
	経常費用	予算額	9,131	10,393	9,985	9,049	
執行額		8,736	7,170	11,355			
執行率		96%	69%	114%			
(単位:百万円) 令和4・5年度予算 内訳	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人日本スポーツ振興センター一般勘定運営費交付金	3,892		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			
	計	3,892	0				

活動内容 (アクティビティ)	日本スポーツ振興センターが、スポーツ科学・医学・情報の研究及び支援、高品質なトレーニング環境の提供、並びに戦略的な強化に関する取組への支援を行い、我が国の国際競技力を向上する。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	競技力強化のための連携・協働を行う	協働コンサルテーション実施 競技種別数	活動実績	競技種別	98	99	99	-			
			当初見込み	競技種別	99	99	99	96			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	統合強化支援事業予算額/実施競技種別数 (配賦予算額ベース)			単位当たり コスト	万円	285	282	282	260		
				計算式	万円/種別数	27,889/98	27,889/99	27,889/99	25,000/96		
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	戦略的強化事業委託競技種別数	委託団体数	活動実績	団体	29	30	37	-			
			当初見込み	団体	31	29	37	34			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	契約額/委託競技種別数 (令和元、2、3年度は契約額ベース 令和4年度活動見込は予算額ベース)			単位当たり コスト	万円	2,883	3,027	2,668	2,610		
				計算式	万円/種別数	83,616/29	90,813/30	98,724/37	88,726/34		
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	医・科学サポートを行う	医・科学サポートを行った競技種別数	活動実績	競技種別	55	56	56	-			
			当初見込み	競技種別	50	50	50	50			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	JISS運営費/医・科学サポートを行った競技種別数			単位当たり コスト	万円	3,674	3,476	4,904	4,119		
				計算式	万円/種別数	202,048/55	194,664/56	274,676/56	205,942/50		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	夏季オリンピック競技大会において、過去最高の金メダル獲得数を目指す	金メダル獲得数	成果実績	個	-	-	27				
			目標値	個	-	-	17	-	17		
			達成度	%	-	-	159				
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	目標値の出典は「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日 文部科学省 p.26)										
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	冬季オリンピック競技大会において、過去最高の金メダル獲得数を目指す	金メダル獲得数	成果実績	個	-	-	3				
			目標値	個	-	-	6	-	6		
			達成度	%	-	-	50				
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	目標値の出典は「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日 文部科学省 p.26)										
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	夏季パラリンピック競技大会において、過去最高の金メダル獲得数を目指す	金メダル獲得数	成果実績	数	-	-	13				
			目標値	数	-	-	18	-	18		
			達成度	%	-	-	72				
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	目標値の出典は「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日 文部科学省 p.26)										

独法等所管部局による点検・改善

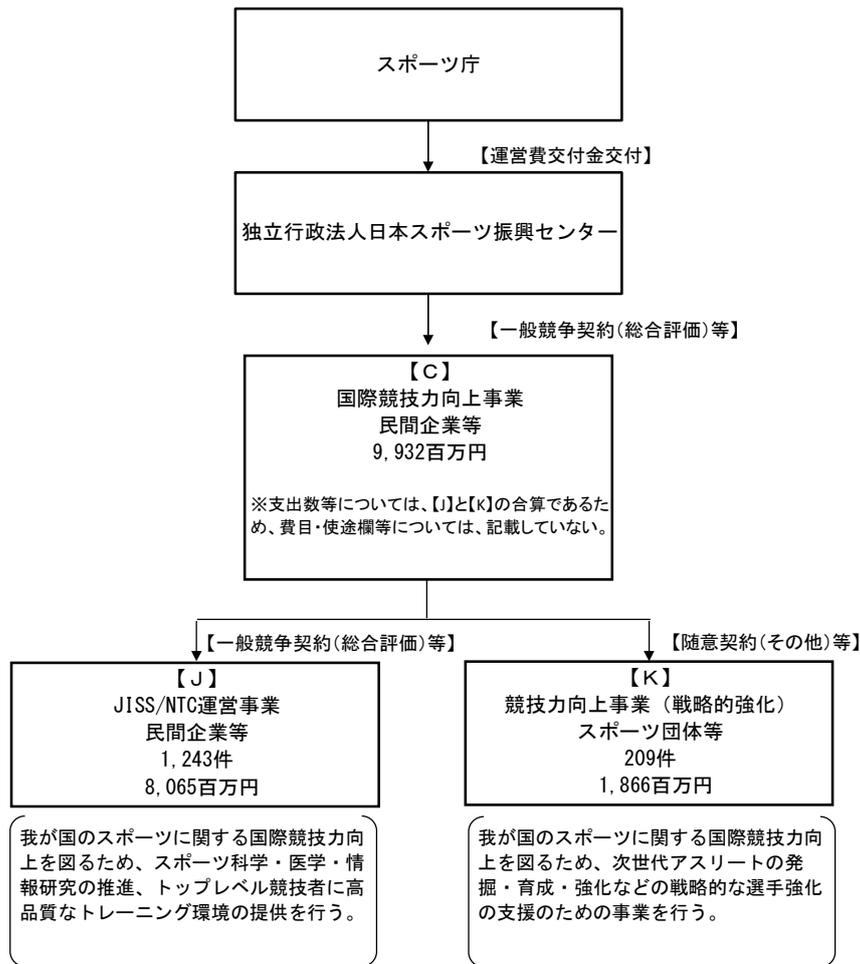
項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国のトップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであり、国際競技力の向上に資する本事業は、広く国民のニーズがある事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、各競技団体が作成する強化戦略プランに基づいて行われる強化活動等を関係機関等と連携しながら支援するものであり、民間の主体に委ねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるものを、効果的かつ効率的に行うものであることから、地方自治体、民間等に委ねることは困難である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、第2期スポーツ基本計画の「3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備」においてその必要性が明記されており、政策の優先度が高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	独立行政法人日本スポーツ振興センター会計規則に基づき、適切に処理している。競技力向上事業(戦略的強化)については、企画競争を実施することで複数応募者の中から委託先を選定しているが、委託先の複数年度にわたる計画に基づきアスリートを育成することから、継続的に事業を実施する必要があり、過年度と同一の委託先に委託しているところである。また、「スポーツ基本計画」及び「競技力強化のための今後の支援方針」において記載されている施策(次世代アスリートの発掘・育成)を実施するため、一部事業において、必要な専門性を有する団体(公益財団法人日本パラスポーツ協会等)と競争性のない随意契約を行っている。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td style="width: 50%;">有</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td>有</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	独法が国から指示された中期目標の達成に向けて策定した中期計画を実施するために、独法に対して交付するものであり、負担関係は妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	要綱等において、事業に直接必要な経費のみを対象経費とするなど、単位当たりコスト等の水準の妥当性確保に努めている。				
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	独立行政法人日本スポーツ振興センター会計規則や調達等合理化計画に基づき、合理的な支出に取り組んでいる。					
費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	要綱等において、当該事業に直接必要な経費に限定されるよう徹底している。また、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、適切な執行に努めている。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」(平成27年5月25日総務大臣決定)に基づく取組を着実に実施することにより、経費の抑制を図ることとしている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	各競技団体が策定する強化戦略プラン等に基づいて行われる選手強化に係る事業等に対して支援を行い、実績が成果目標に見合うよう努めている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、事業の効果的・効率的な実施の観点から、従来日本オリンピック委員会や日本パラスポーツ協会等においてそれぞれ実施されていた支援事業等を一体的に行っているところである。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込み通りの活動実績となっており、見込みに見合っている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	一部事業において事業報告書やパンフレット等を作成しているところ、それらをホームページやセミナー等で広く発信することで、成果の周知・還元を活用しているところである。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	事業番号		事業名				

点検・改善結果	点検結果	東京2020大会等において活躍が期待されるトップアスリートに対して、専門性の高い研究・支援を実施するとともに高品質なトレーニング環境を提供し、また、次世代アスリートの発掘・育成や強化戦略プランを中核とした競技団体のPDCAサイクルの推進を行うなど、競技力向上に資する実効的かつ戦略的な取組みを行い、東京2020大会では過去最高の金メダル数及びメダル総数を達成した。
	改善の方向性	事業の進捗状況や執行状況の定期的な確認、必要に応じた事業実施方法の見直し等を通じ、引き続きスポーツ基本計画における目標である「我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収める。」ことを実現することができるよう、効率的・効率的な事業運営に努めていく。

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

J.株式会社協栄			K.公益財団法人日本パラスポーツ協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守等業務委託費	JISS及びNTO管理・運営業務一式等	1,087	保守等業務委託費	アスリートパスウェイの戦略的支援委託事業(地域ネットワークを活用したアスリート育成パスウェイの整備)	106
計		1,087	計		106

支出先上位10者リスト

JJISS/NTC運営事業

※同種の他の契約予定価格を類推される恐れがあるため、落札率を一部非公表としている

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社協栄	2010001041271	JISS及びNTC管理・運営業務一式	1,078	一般競争契約 (総合評価)	-	-	
2	株式会社協栄	2010001041271	東京2020大会サポート拠点におけるプール内清掃作業	1	随意契約 (少額)	-	-	
3	株式会社協栄	2010001041271	JISSろ過機室 逆洗排水槽清掃作業	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
4	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト プール排水槽清掃作業	0.8	随意契約 (少額)	-	-	
5	株式会社協栄	2010001041271	JISS 競泳プール、アーティスティックスイミングプールの清掃	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
6	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(5月分)	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
7	株式会社協栄	2010001041271	東京2020大会サポート拠点における特別清掃作業	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
8	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト 冷媒漏れ修理作業	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
9	株式会社協栄	2010001041271	JISS貯湯槽清掃作業	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
10	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト剥離清掃作業	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
11	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト 限流ヒューズの交換作業	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
12	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 逆洗排水槽清掃作業	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
13	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト フェンシング場TR上部除塵作業	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
14	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(6月分)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
15	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(8月分)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
16	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(9月分)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
17	株式会社協栄	2010001041271	アスリートヴィレッジ食堂における鼠駆除	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
18	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト パワーユニット交換作業	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
19	株式会社協栄	2010001041271	JISS 新体操場 管球交換作業	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
20	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(7月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
21	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト松脂清掃作業(10月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
22	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(11月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
23	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(12月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
24	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(1月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
25	株式会社協栄	2010001041271	NTCイースト 共用コートD 松脂清掃作業(3月分)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
26	株式会社協栄	2010001041271	アスリートヴィレッジ食堂の鼠駆除作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
27	株式会社協栄	2010001041271	アスリートヴィレッジ アリの駆除作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
28	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト 室内機サーミスタ修理作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
29	株式会社協栄	2010001041271	NTCウエスト GHPドレンパン清掃作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
30	株式会社協栄	2010001041271	JISS 旧アーチェリー場 全熱交換器の清掃作業	0.1	随意契約 (少額)	-	-	

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
					-	年度	3	年度	
冬季パラリンピック競技大会において、過去最高の金メダル獲得数を目指す	金メダル獲得数		成果実績	数	-	-	4		
			目標値	数	-	-	13	-	13
			達成度	%	-	-	31		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	目標値の出典は「スポーツ基本計画」(平成29年3月24日 文部科学省 p.26)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
					-	年度	3	年度	
夏季オリンピック競技大会で過去最高の入賞数をを目指す	入賞数		成果実績	数	-	-	136		
			目標値	数	-	-	89	-	89
			達成度	%	-	-	153		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	夏季オリンピック競技大会における日本人選手の入賞数								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
					-	年度	3	年度	
冬季オリンピック競技大会で過去最高の入賞数をを目指す	入賞数		成果実績	数	-	-	43		
			目標値	数	-	-	44	-	44
			達成度	%	-	-	98		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	冬季オリンピック競技大会における日本人選手の入賞数								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
					-	年度	3	年度	
夏季パラリンピック競技大会で過去最高の入賞数(8位以内)を目指す	入賞数(8位以内)		成果実績	数	-	-	158		
			目標値	数	-	-	128	-	128
			達成度	%	-	-	123.4		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	夏季パラリンピック競技大会における日本人選手の入賞数(8位以内)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
					-	年度	3	年度	
冬季パラリンピック競技大会で過去最高の入賞数(8位以内)を目指す	入賞数(8位以内)		成果実績	数	-	-	41		
			目標値	数	-	-	113	-	113
			達成度	%	-	-	36		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	冬季パラリンピック競技大会における日本人選手の入賞数(8位以内)								